

発表項目 (行事名)	G20観光大臣会合「学生サミット」×地方創生ワカモノ会合in札幌 ～観光で、地域は変わる～の開催について				
概要	<p>本年10月に倶知安町で開催されるG20観光大臣会合を機に、若者世代が「観光」や、「北海道の未来」を考えるきっかけになればという想いで、学生ボランティア団体「G20MTM (Meeting of Tourism Ministers)学生サポーターズ」と、G20観光大臣会合実行委員会が共同し、「学生サミット」を開催します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【第一部】G20観光大臣会合「学生サミット」×地方創生ワカモノ会合in札幌 日時：8月27日(火) 13:30～14:50 会場：札幌国際大学2号館 2階大講堂「創風」(清田区清田4条1丁目4番1号)</p> <p>○開会挨拶：中根 一幸(内閣府副大臣) 土屋 俊亮(北海道副知事) ○地方創生に関する説明：田中 由紀(内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局次長)</p> <p>～特別講演～</p> <p>① 菅野 薫氏 (株)電通CDC/Dentsu Lab Tokyo <small>※2020東京オリパラ開閉会式4式典総合プランニングチームの一員</small></p> <p>② 伊藤 博之氏 クリプトン・フューチャー・メディア(株)代表取締役</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【第二部】G20観光大臣会合「学生サミット」 日時：8月27日(火) 15:00～19:00 / 8月28日(水) 9:30～12:00 会場：札幌国際大学2号館 2階大講堂「創風」及び4階教室「242」・「243」</p> <p>○道内大学生が2日間にかけて、 北海道観光に関する4つのテーマで、グループディスカッションを行います。</p> <p>○大学生がとりまとめた、北海道観光に関する「学生サミット宣言」を発表します。</p> <p>ここで議論された内容及び学生サミット宣言は、 G20観光大臣会合の地元歓迎レセプションの機会を活用して発表されます。</p> <p>議論される4つのテーマ</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 人口減少時代の北海道観光</td> <td style="width: 50%;">2. 北海道とスポーツツーリズム</td> </tr> <tr> <td>3. 北海道の地域資源</td> <td>4. 北海道の若者のブレイクスルー</td> </tr> </table> </div>	1. 人口減少時代の北海道観光	2. 北海道とスポーツツーリズム	3. 北海道の地域資源	4. 北海道の若者のブレイクスルー
1. 人口減少時代の北海道観光	2. 北海道とスポーツツーリズム				
3. 北海道の地域資源	4. 北海道の若者のブレイクスルー				
参考	<p>「学生サミット」は、学生ボランティア団体「G20MTM学生サポーターズ」が、北海道の未来を担う若者世代に向けて企画し、運営しています。</p> <p style="text-align: center;"><u>是非、積極的な取材・報道をお願いいたします。</u></p>				
報道(取材)に当たってのお願い	<p>第一部の特別講演については、著作権等の理由により、ムービー及びスチールの撮影は行えません。</p> <p>その他留意事項につきましては、別紙取材要項をご参照ください。(幹事者協議済)</p>				
他のクラブとの関係	<p>同時配付 同時レク</p>				
担当(連絡先)	<p>G20観光大臣会合実行委員会事務局 (総合政策部国際局国際課ロジ支援・関連事業G) (担当者：武田) TEL ダイアルイン 011-204-5159 内線21-208</p>				

地方創生ワカモノ会合 in 札幌

観光で、地域は変わる

【取材要項】

本日はご多忙の中、『地方創生ワカモノ会合 in 札幌 観光で、地域は変わる』の取材にお越しくださり、ありがとうございます。

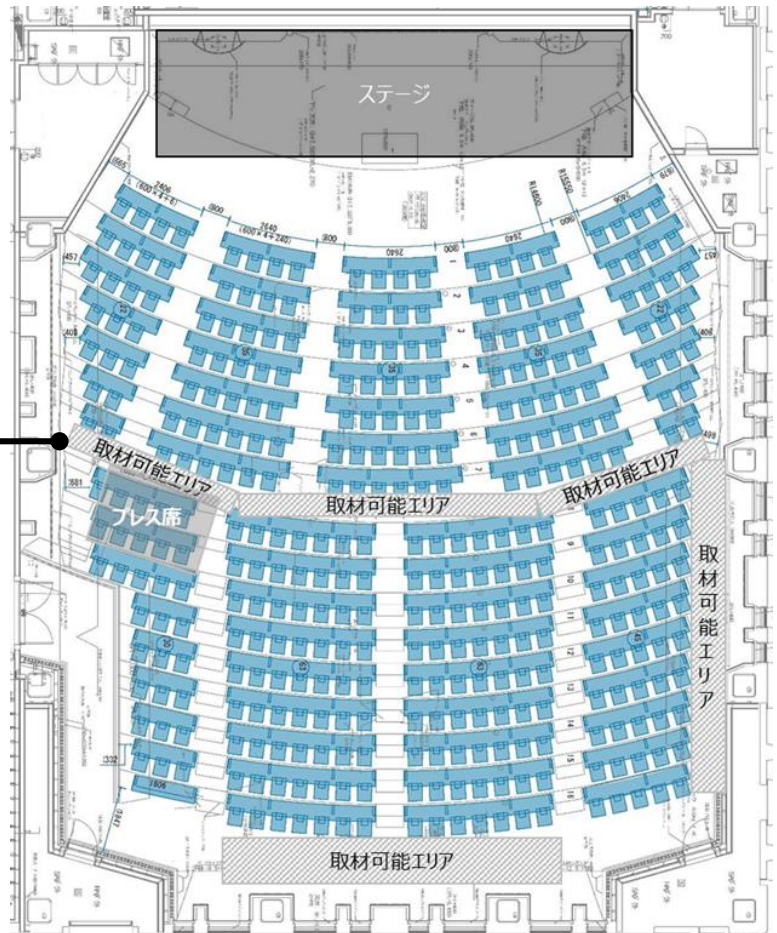
報道関係の皆様にご迷惑にならないよう、ご取材にあたっては、本要項を順守いただきますようお願いいたします。ご不明な点等がございましたら、報道担当者にお尋ねください。

■取材場所・取材について

「プレス席」の席札が貼られている席にお座りください。

撮影エリア（網掛け部分）

- ※スチール、ムービーとも撮影はこのエリア（網掛け部分）のみでお願いいたします。
- ※出入口は塞がないようご配慮ください。
- ※頻繁に移動するなど、一般参加者の皆さまへのご迷惑となることがないようにご配慮ください。



※会場レイアウトは、変更になる可能性があります。

【留意事項】

- (1) ご取材の際は、受付でお渡ししたIDカードの他、自社腕章・身分証明書等を必ず携帯してください。
- (2) **特別講演①及び②はムービー、スチールともに撮影は行えません。予めご了承ください（音声録音は可能です）。**
- (3) 開会挨拶、地方創生に関する説明、閉会挨拶中の撮影は可能です。
- (4) 会場の一般参加者個人が特定される写真・映像撮影（ズーム、前方からの撮影など）はご遠慮ください。
- (5) 一般参加者へのインタビュー等の取材は、以下のとおりお願いします。
 - ・参加者から個別に許諾を得て行ってください。
 - ・参加者への取材はイベント終了後に実施してください。なお、休憩時間を利用しての参加者への取材は、イベントの進行に影響が出る可能性がありますので極力ご遠慮ください。どうしても必要な場合は、会場の外で実施してください。
- (6) その他、一般参加者に対して、ご迷惑となるような行為はご遠慮ください（集音マイクを近づける等）。

※第二部 G20観光大臣会合「学生サミット」の取材、撮影は可能です。

地方創生ワカモノ会合 in 札幌

観光で、地域は変わる

【開催概要】

- 日時：** 2019年8月27日（火）
開場・受付開始 13:00 開会 13:30 / 閉会 14:50（予定）
- 会場：** 札幌国際大学 大講堂「創風」
（北海道札幌市清田区清田4条1丁目4-1）
- 主催：** G20 観光大臣会合実行委員会、G20MTM学生サポーターズ、
内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局、内閣府地方創生推進事務局
- 共催：** 札幌国際大学
- 後援：** 観光庁

時間	LAP	プログラム	登壇者
13:30	10分	■ 開会挨拶	中根 一幸 氏 （内閣府副大臣） 土屋 俊亮 氏 （北海道副知事）
13:40	15分	■ 地方創生に関する説明	田中 由紀 氏 （内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局 次長）
13:55	25分	■ 特別講演①	菅野 薫 氏 （株式会社電通 CDC/Dentsu Lab Tokyo エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター、クリエイティブ・テクノロジスト）
14:20	25分	■ 特別講演②	伊藤 博之 氏 （クリプトン・フューチャー・メディア株式会社 代表取締役/ NoMaps 実行委員会 委員長）
14:45	5分	■ 閉会挨拶	田中 由紀 氏 （内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局 次長）

G20 観光大臣会合「学生サミット」

【開催概要】

日時 2019年8月27日(火) 15:00～8月28日(水) 12:00

会場 札幌国際大学 2階 大講堂「創風」(オリエンテーション・各班発表・サミット宣言)
4階 242教室、243教室(グループディスカッション)

8月27日(火)

時間	LAP	プログラム	登壇者等
15:00	40分	■オリエンテーション ・道の空港民営化や地域活性化の事例について	山崎 雅生 (北海道経済部 次長)
15:50	70分	■オリエンテーション ・北海道観光のレクチャー(各テーマ15分程度) テーマ1 人口減少時代の北海道観光 テーマ2 北海道とスポーツツーリズム テーマ3 北海道の地域資源 テーマ4 北海道の若者のブレイクスルー	遠藤 正ほか (札幌国際大学 教授)
17:15	105分	■グループごとに自由討論	

8月28日(水)

時間	LAP	プログラム	登壇者等
9:30	90分	■各班の議論総括	
11:00	50分	■各班発表	各班代表者
11:50	10分	■サミット宣言	G20MTM 学生サポーターズ

【取材にあたっての留意事項】

- (1) 大講堂「創風」の撮影エリアは、地方創生ワカモノ会合 in 札幌と同じとなります。
- (2) ご取材の際は、自社腕章・身分証明書等を必ず携帯してください。
- (3) 会場の参加者個人が特定される写真・映像撮影(ズーム・前方からの撮影)をする場合は、個別に許諾を得てください。
- (4) 学生へのインタビュー等の取材は、以下のとおりお願いします。
 - ・参加者から個別に許諾を得て行ってください。
 - ・参加者への取材はイベント終了後に実施してください。なお、休憩時間を利用しての参加者への取材は、イベントの進行に影響が出る可能性がありますので極力ご遠慮ください。
 - どうしても必要な場合は、会場の外で実施してください。
- (5) その他、参加者に対して、ご迷惑となるような行為はご遠慮ください(集音マイクを近づける等)